

現代アメリカ政党研究
専門英語（24）/アメリカ政治経済演習
アメリカ太平洋基層文化論 II/国家・市民社会・企業 I
2025年度 A セメスター月曜 2 限

担当教員：平松彩子（総合文化研究科/CPAS）
教員への連絡方法：UTOL 上のメッセージ機能
オフィスアワー：金曜日 10 時 30 分～11 時 45 分（予約制）

I. 授業の目標、概要

アメリカ政治は現在、大きな変動の時期を迎えている。トランプ 2 次政権を誕生させた白人労働者のポピュリズム、また適正な法の執行や報道の自由を阻害する権威主義的傾向が強まっていることがジャーナリズムで指摘されているが、アメリカ合衆国の政党研究の文脈でこの変化はどのように分析されているだろうか。

本授業では、大統領権限の強化が政党と統治機構に対してもたらす矛盾、共和党のビジネス保守派が複数の州で展開してきた活動、という 2 つの観点から、近年刊行された研究書を講読する。一つ目の *What Happened to the Vital Center?* はアメリカ合衆国憲法が建国当初から前提としてきた権力分立制、すなわち制度的多元性を重視した原則が、こんにちでは大統領を一元的な執行者とする権力行使を受容するようになっていくこと、その背後には二大政党とポピュリズムを含む社会運動の関係が要因としてあることを、主に 20 世紀後半以後の歴史的な変遷に沿って取り上げた図書である。二つ目の *State Capture* はアメリカ立法交流評議会（American Legislative Exchange Council, ALEC）という保守系ビジネス利益団体が近年展開してきた州議会レベルにおける立法活動の浸透についての研究書である。

演習形式で実施する本授業では、これら二冊の図書を理解した上で、そこに示される知見が、トランプのポピュリストかつ権威主義的な統治と、どのように、どの程度、なぜ、親和的なのか（あるいは親和的ではないのか）を議論したい。その議論には、アメリカ政治と民主政の今後の展望が見出せるものと思われる。

II. 授業のキーワード

アメリカ政治、大統領権限の強化、共和党、利益団体

III. 授業計画

第1回 10月6日（金） はじめに [オンライン実施]
シラバス配布、授業概要説明、自己紹介

Daniel J. Galvin and Chloe N. Thurston, "American Political Development as a Problem-Driven Enterprise," *Studies in American Political Development*, Vol. 36, Issue 2, 156-158.

第1部：政党を率いる大統領？

第2回 10月13日（月祝日） ポピュリズムと民主主義

Chapter 1, Nicholas F. Jacobs and Sidney Milkis, *What Happened to the Vital Center? Presidentialism, Populist Revolt, and the Fracturing of America*, (Oxford University Press, 2022).

第3回 10月20日（月） 大統領府を中心とする党派性の起源

Chapter 3, Jacobs and Milkis, *What Happened to the Vital Center?*

第4回 10月27日（月） 1960年代以降の民主党

Chapter 4, Jacobs and Milkis, *What Happened to the Vital Center?*

第5回 11月6日（木） 1960年代以降の共和党

Chapter 5, Jacobs and Milkis, *What Happened to the Vital Center?*

第6回 11月10日（月） 21世紀の大統領権限

Chapter 6, Jacobs and Milkis, *What Happened to the Vital Center?*

第7回 11月17日（月） 大統領権限とアメリカ民主政の今後

Chapter 7, Jacobs and Milkis, *What Happened to the Vital Center?*

共和党の保守系ビジネスロビー

第8回 12月1日（月） アメリカ立法交流評議会 ALEC の誕生

Preface, Introduction, Chapter 1, Alex Hertel-Fernandez, *State Capture: How Conservative Activists, Big Businesses, and Wealthy Donors Reshaped the American States—and the Nation*, (Oxford University Press, 2019).

第9回 12月8日（月） 州議会への浸透

Chapters 2 and 3, Hertel-Fernandez, *State Capture*.

第10回 12月15日（月） ALEC と大規模ビジネス

Chapters 4 and 5, Hertel-Fernandez, *State Capture*.

第11回 12月22日（月） 保守派との提携

Chapter 6, Hertel-Fernandez, *State Capture*.

第12回 1月5日（月） 民主党と左派の限界

Chapter 7, Hertel-Fernandez, *State Capture*.

第13回 1月19日（月） おわりに
Conclusion, Hertel-Fernandez, *State Capture*.

IV. 授業の方法

演習形式で、報告担当者の口頭報告とその後の授業内議論によって進める。口頭報告では配布レジュメを準備し、課題文献の概要を整理した上で、論点やコメントを提示する。報告を担当していない回には、論点やコメントを UTOL 上で提出することができる。

V. 成績評価方法

口頭報告（50％）、授業内での議論への参加度（30％）、論点提出（20％）

VI. 教科書

- ✧ Nicholas F. Jacobs and Sidney Milkis, *What Happened to the Vital Center? Presidentialism, Populist Revolt, and the Fracturing of America*, (Oxford University Press, 2022).
東京大学図書館より電子ブックでアクセス可
- ✧ Alex Hertel-Fernandez, *State Capture: How Conservative Activists, Big Businesses, and Wealthy Donors Reshaped the American States—and the Nation*, (Oxford University Press, 2019). アマゾン Kindle 版有り

VII. 参考書

- ✧ 岡山裕、西山隆行編『アメリカの政治 第2版』、弘文堂、2024年
- ✧ 岡山裕『アメリカの政党政治-建国から250年の軌跡』中公新書2611、2020年
- ✧ A. ハミルトン、J. ジェイ、J. マディソン『ザ・フェデラリスト』、斎藤眞、中野勝郎翻訳、岩波書店、1999年
- ✧ 久保文明著『アメリカ政治史』、有斐閣、2018年

VIII. 履修上の注意

当然のことながら、文献の予習をした上で授業に臨むこと。

IX. 欠席について

セメスター13回の授業のうち、欠席が三分の一（つまり4回）を超えた場合は、単位を認めない。